第３回　鯖江警察署協議会

開 催 日 時	令和８年１０月２０日（火）　午後２時００分から午後４時１０分まで
開 催 場 所	本部通信指令室、交通管制センター、鯖江警察署　講堂
出　席　者	鯖江警察署協議会委員　　６名 鯖江警察署長以下　１０名

協議会の概要

１　警察本部視察

警察本部通信指令室、交通管制センター等の視察を実施し、１１０番通報から現場臨場の流れや信号機等による道路の規制がどのように行われているのかについて、委員の理解が深まった。

２　業務報告

３　意見・質疑及び応答

○　委員：　自転車の交通違反の警告や切符処理は学生が多いのか。

●　警察：　警告対象は学生が多いが、切符処理は成人が多い。

○　委員：　警告した学生については高校生が多いのか。

●　警察：　中学生にも警告している。

○　委員：　自転車の鍵掛けイベント（ガチ鍵グランプリ）について、中学校は何割位鍵掛けされているのか。

●　警察：　100％の中学校もあるが、平均すると７割位の自転車が鍵掛けされており、鍵掛けの意識付けができていると思われる。

ただし、自転車盗難被害の多い駅駐輪場の被害者の６割は学生なので、今後も鍵掛けの意識付けを続けていく。

○　委員：　特殊詐欺被害防止対策について、免許センターでの活動や出前講座等、非常に力を入れてくださっていると感じている。

●　警察：　詐欺対策アプリをインストールしていただく良い機会になっている。

○　委員：　それでも毎日のように特殊詐欺被害の報道を目にしている。

なぜ騙されてしまうのかという検証はされているのか。

●　警察：　自分は騙されない、大丈夫と思っている人ほど騙される傾向にある。

「もしかして」と常に思って用心する意識を持って欲しいと考える。

被害者からアンケートをとった結果、殆どの人が詐欺対策アプリを入れていなかった。また、「まさか自分が」という人ばかりであった。

被害防止広報についても、若い人は新聞・テレビを見ないので、県警としてＳＮＳ等を使った広報を充実する取組等を進めている。

○　委員：　特殊詐欺の被害者は、犯人から考える隙を与えられずに被害に遭ってしまうと聞いている。

何でもすぐに相談できる人が身近にいると良いが、誰もが騙される可能性があると意識して気をつけていきたいと考える。



